



公助を引き出す自助の取り組み ～情報提供の在り方再考

担当：大串葉子

ogushi@sugiyama-u.ac.jp

本日の内容

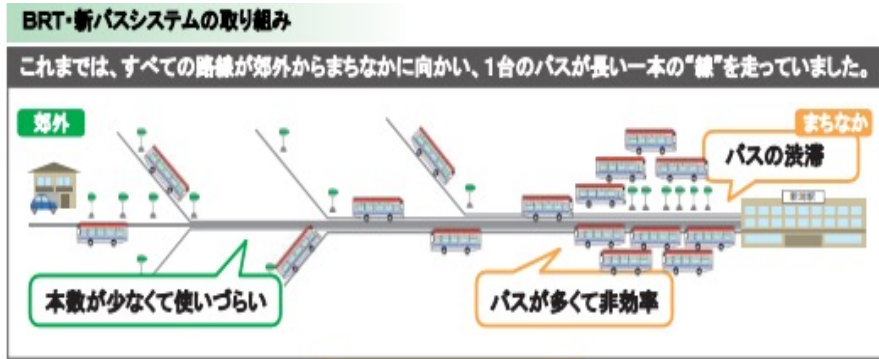
1. 公助が担うべきは「情報開示」と「住民参加」
2. 具体的な取り組み：新潟市の事例
「都心」BRT導入→「郊外」バスの増便
 - 2.1 郊外型:住民による住民バス立ち上げまで
 - 2.2 住民バスの仕組み
 - 2.3 住民バス、高齢化への対応
 - 2.4 住民の自助の取り組み
3. 加西市北条鉄道の事例

1. 今「公」が担うべきなのは 十分な「情報開示」と「住民参加」

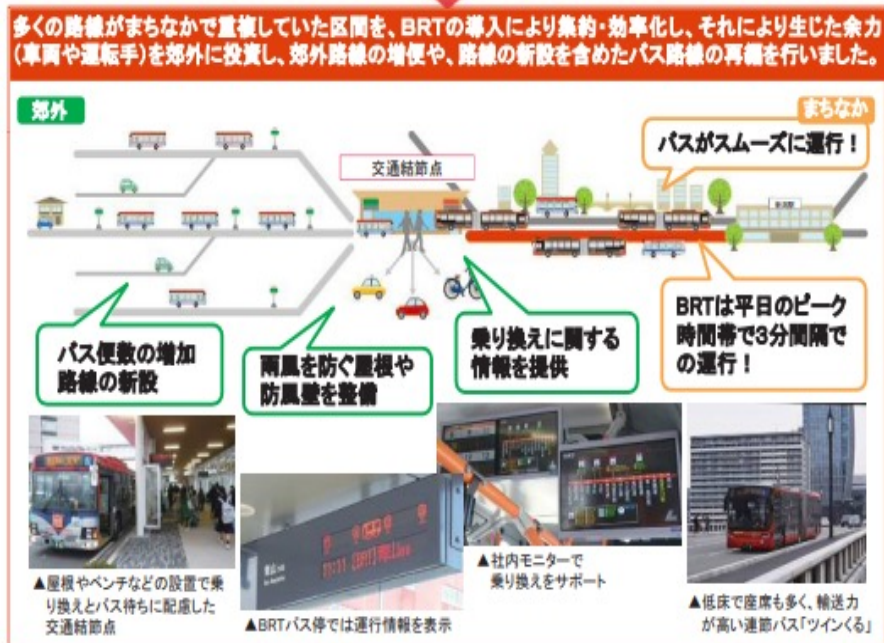
- 公営にしる、民営にしる、「公共交通の問題点」の多くは、住民参加がほとんどないことに起因している
- 公共交通は「与えられるもの」「あってあたりまえ」
 - 費用対効果・継続に必要な乗車率についての情報がない
 - 公共交通事業の経営状況が分からないなかで、「減便」「路線廃止」が発表される
- 公共交通事業者や不採算事業への税金投入への反対もある。

- | | |
|-------------|---|
| ◎事業者の情報開示 | ①情報の適宜提供による住民の公共交通サービスに関する予見性の確保 |
| ◎住民への情報開示 | ②路線維持のための補助金総額などを明示し、住民に公共交通利用のための「行動変容」を促す |
| ◎交通計画等策定の際に | ③現在の利用者のみならず、多様な世代の十分な住民参加を促す |

2. 具体的な取り組み：新潟市（BRT導入）



利用者が減り、バスが減り続ける悪循環に歯止めをかけるために…
平成27年9月「BRT・新バスシステム」をスタート！



- ・ H21：街中はバスで混雑、郊外は本数が少なくて不便な状態を解消するために、当初はLRTを検討
 - ・ H22～H24：新たな交通システム導入検討委員会でBRTが適当との議論が大きくなり、BRT導入へ
 - ・ H27: 接続バス4台を導入し、**路線網の再編**を実施（新潟市がバスを購入し、交通事業者に貸与するというスキームで実施）
 - ・ H30：開業時は全体で3017本が3319本に増便
◎開業3年で利用者は2.3%（53.7万人）増
- ★公設民営方式で車両4台分で約5億円、交通結節点や案内システムの整備等で総額約30億円/20年で年間1億5千万円（そのうち、国からの補助金が年7,500万円）

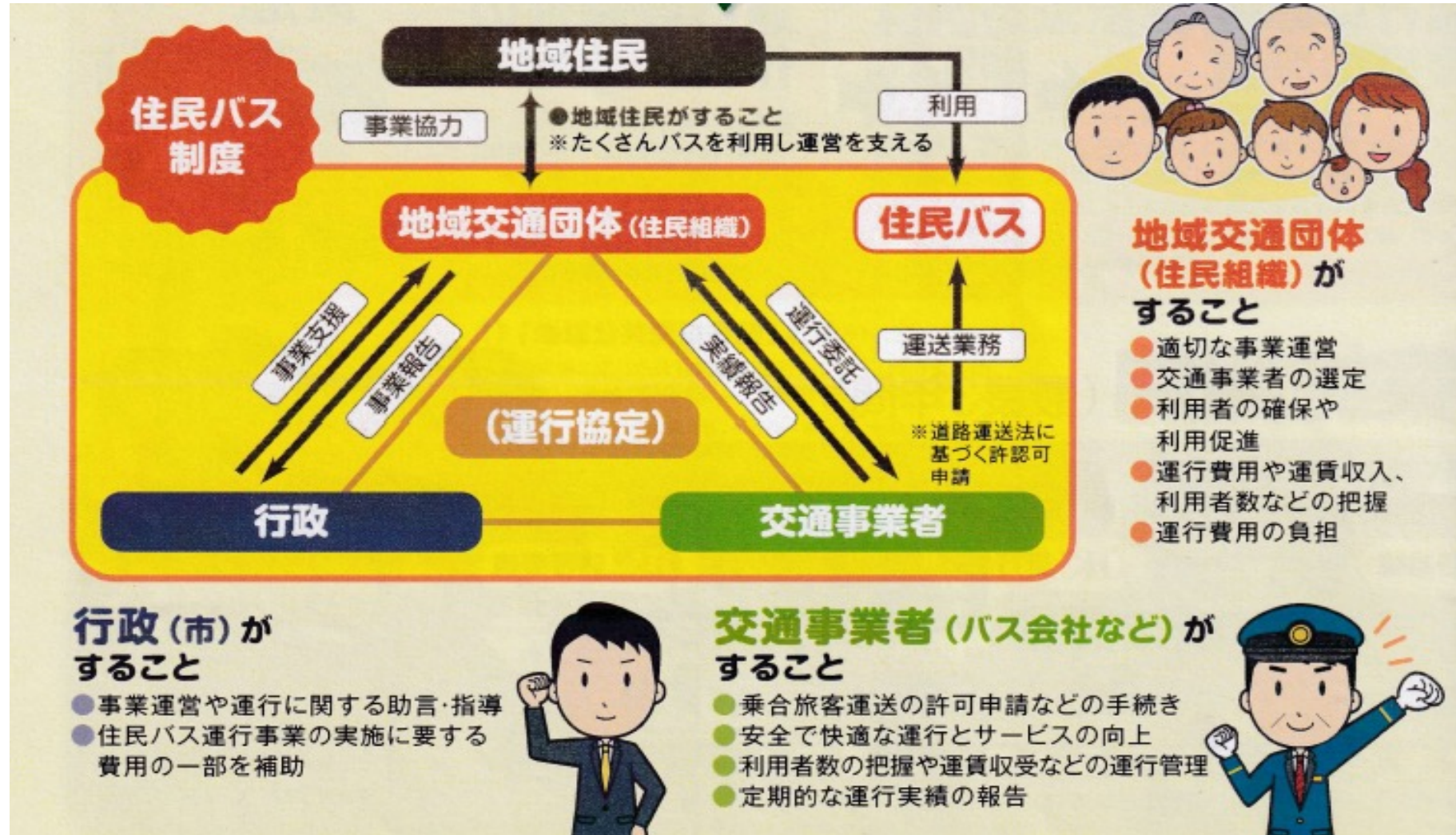
出典：

<https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/doro/kotsu/newsystem/index.files/H30BRTkoremade.pdf>

2.1 具体的な取り組み：新潟市（区バス・住民バス）

- 需要が見込めず、バス路線が廃止になった区では「区バス」や「住民バス」を走らせている（車両の型は様々）。
- 運行は区ごとに事業者に委託しており、赤字は市が負担している。
- 市の負担額は「区バス」「住民バス」で年間各1億円程度
(新バスシステム導入で浮いた公費を投入)
- 住民バスは採算ラインが3割
→市が毎月利用状況を住民に開示し、運賃の収入が費用総額の3割を切りそうな月は区役所や事業者がアラートを出す。それを受けて地域住民が近所に「乗車お願い」のビラを配るなどの需要喚起を行っている
= 住民が一定の需要創出にコミットメントする仕組み
- サービス内容（ダイヤ、回数券やシニア割、免許返納、こども割引、土日の運行などについて住民自身が費用との見合いで決定している）

2.2 住民バスの仕組み



住民バス事業の立ち上げは、住民自身が

- ①地域交通団体を立ち上げ
- ②運行事業者を選定し、
- ③運行内容と事業企画書を作成することから始まる

* 運賃による収入が3割を切ったら、地域交通団体が負担することになるため、バス利用に対する強いコミットメントを生んでいる

人口密度や高齢化率は直近の国勢調査のデータ利用、空白地帯はGISを活用

2.3 住民バスも高齢化の進展への配慮へ

- H27年4月1日からR5年3月31日の間は最大85%の補助へ

計算式 = **人口密度** × **高齢化率**による補正 × **公共交通空白地域解消**による補正

(バス路線300m圏域) : 新潟市より提供された資料 (2022年7月27日)

	コミュニティ佐潟バス	カナリア号	にこにこ号	Qバス	陽光・松浜・濁川地区	月潟地区	横越地区(南ルート)	横越地区(北ルート)
300m圏域人口密度A	354	1069	6993	2822	1000	644	617	634
高齢化率	0.14%	-1.80%	6.63%	2.12%	1.17%	4.25%	-4.16%	-2.29%
高齢化率による補正B	1000	1000	0.82	0.94	0.97	0.88	1	1
交通空白地域解消率	91.50%	81.80%	29.30%	11%	40.30%	40.70%	97.30%	87.30%
交通空白地域解消率による補正C	0.55	0.6	0.9	0.8	0.8	0.8	0.55	0.6
補助率算定人口密度 A×B×C	195	641	5161	2574	776	453	339	380
補助率	85%	80%	70%	75%	80%	80%	80%	80%
必要収支率	15%	20%	30%	25%	20%	20%	20%	20%
参考：H25年度の収支率	28%	22%	37%	38%	36%	25%	24%	13%

*黄色のマスは、必要収支率が30%を切っていたので地域公共団体は多額の費用負担があったが、今回の措置で軽減されている。

2.4 住民自助の例（月潟住民バス便りR3年1月発行分抜粋）

月潟住民バス利用者懇談会を開催しました。



令和2年11月17日（火）、月潟集落開発センターで住民バス利用者14名の方からお集まりいただき、意見交換を行いました。

最初に、事務局から利用状況の報告、新潟市が実施している「未来に向けたバス・タクシー利用支援事業」（内容を裏面に記載）を紹介し、その後、バスに関する質問や要望など意見をいただきました。

懇談会での主な質問・要望

●住民バス関係

利用者：なぜ収支率が20%を下回ると住民負担が発生するのですか？

事務局：月潟地区の場合は、運行にかかる費用の最大80%を市が補助しています。そのため、運行収入が20%を下回ると地域住民の負担が発生します。

●「未来に向けたバス・タクシー利用支援事業」関係

利用者：1日乗車券の「ふらばすチケット」はどこで購入できますか？

事務局：新潟交通観光バス潟東営業所や新潟駅前案内所等で購入できます。一度に購入できる枚数は、お一人3枚までとなっています。

利用者：300円割引のタクシーチケットは、誰でももらえますか？

事務局：1回の乗車につき、誰でも1枚もらうことができます。

●その他

・りゅうとカードの更新手続きを区役所等で出来るようにしてほしい。

※要望について、運行事業者へ伝えました。

安心・安全な住民バス 区バスをご利用ください！

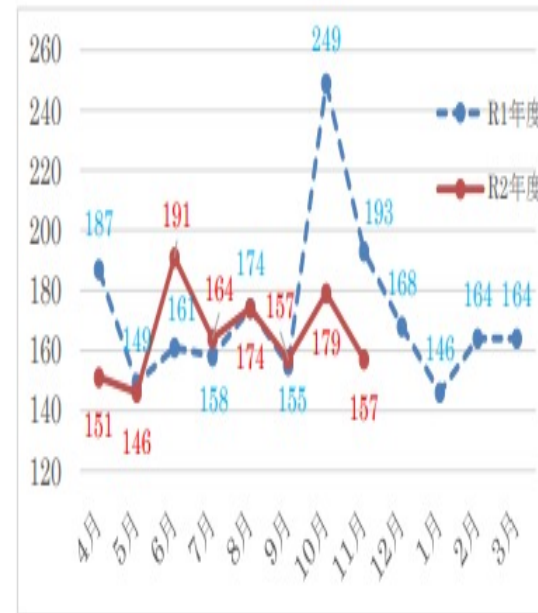
月潟住民バス、区バスは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として換気の徹底、車内の定期的な清掃、除菌作業の取り組みを行っていますが、皆様により安心して利用していただくため、車内を抗菌・抗ウイルスコーティングを実施しました！
今後も安心してご利用ください！



こちらのステッカーがコーティングの印です！



R2年度利用実績（4月～11月）



4月～11月までの利用者数は1,319人で前年と比較して107人減少しました。

新規利用者の減少と新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外出を控えたことが要因と考えられます。また、収支率も22.6%と前年比で2.0ポイント下がっています。

収支率が20%を下回ると地域の負担が発生します！

地域負担のない安定した運行が継続できるように積極的に利用していきましょう！

<月潟住民バスに関するお問合せ>

月潟生活交通運行協議会事務局 南区白根1235（南区役所 地域総務課内）電話 025-372-6605

3. 加西市北条鉄道の事例

市民に「鉄道経営」の切迫や鉄道維持への自助を促す情報提供だったのか？

- 北条鉄道株式会社副社長（当時）

佐伯武彦氏発案

市報に片道無料券を付けることで、帰りは有料で乗ってもらい、鉄道の良さを認識してもらいながら利用者増による収入増の試みを実施（平成24年10月～令和2年7月）。

- キャンペーンと乗降数の因果関係を

証明できなかった。

- 佐伯氏退任により、現在は

実施していないとのこと

（北条鉄道:大橋さんよりメールで先月返答有）

北条鉄道利用促進キャンペーン「片道無料」

北条鉄道の良さを認識してもらおうと、加西市は、「北条鉄道利用促進キャンペーン第5弾」を実施します。優待券を利用して乗車された方は、1回分の乗車が無料になります。また、北条鉄道からドーナツをプレゼントします。キャンペーン期間中の沿線イベントなどにご利用ください。

■期間／11月1日(金)～平成26年1月31日(金)

■利用方法／①優待券を切り取ってください。

②降車(運賃支払い)時に優待券を運転士にお渡しください。乗車運賃が無料になります。

③運転士から「ドーナツ引換券」を受け取ってください。ドーナツは北条町駅でプレゼントします。

■注意事項／1枚につきお一人様、1回限り有効です。

※複写、印刷したものは無効です。

■期間中の主な沿線イベント

●11月2日(土) 10:30 播磨下里駅集合

神鉄ハイキング「秋の法華山一乗寺散策コース」

参加費／400円(一乗寺拝観料)

申込先／神鉄コミュニケーションズ ☎078-521-0321

北条鉄道利用促進キャンペーン
～応援は年1回の乗車から～
北条鉄道乗車優待券

有効期限／平成26年1月31日

※複写・印刷したものは無効



【問合せ先】 人口増政策課 ☎8700 北条鉄道 ☎0036

※優待券は切り取って使用してください。

広報かさい 2013年8月号より抜粋

まとめ

- 公共交通は「与えられるもの」「あってあたりまえ」
 - 費用対効果・継続に必要な乗車率についての情報が無い
 - 公共交通事業の経営状況が分からないなかで、「減便」「路線廃止」が発表される
- 住民参加（自助）をどう促すのか
- 新潟の事例は公助で自助を引き出し、また自助で公助を引き出している。自助（公共交通利用という行動変容を含めて）を引き出すために、精緻な計算方式を用いて公平さを担保しながらも、情報の分かりやすい伝え方を自助と公助で実践している。